



「まちに気づくまちを築くとかち清水 ～想いをミライに繋ぐまち～」

# SHIMIZU

春を探しにお散歩!  
福寿草 カワイイね♪

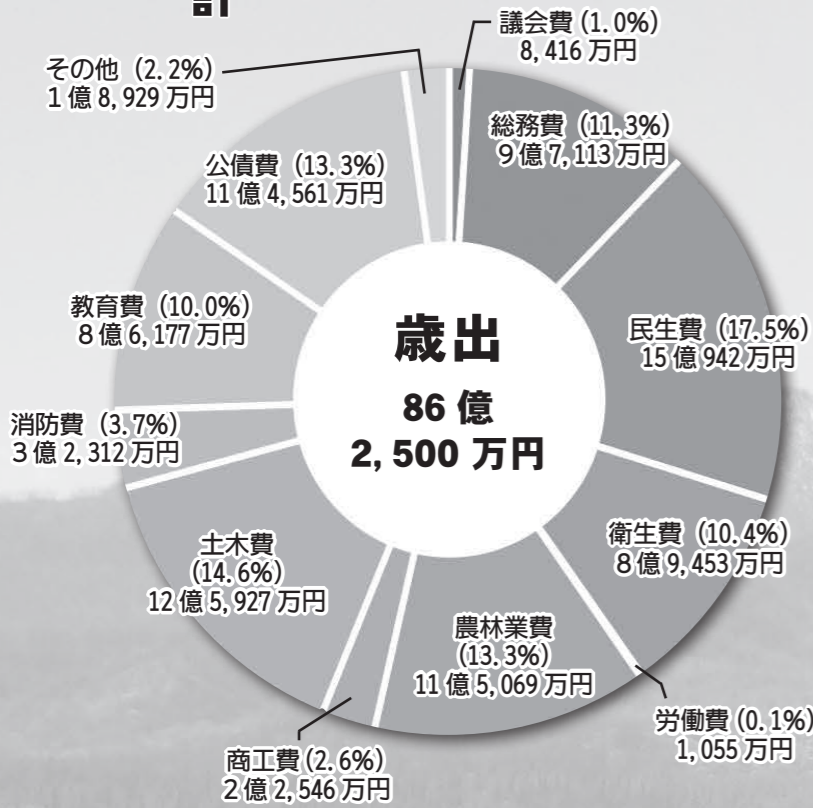
特集

## 令和4年度まちづくりの 予算と方針

ゆうえる 文化賞・スポーツ賞 (学生部門) 受賞者紹介

写真 しみず保育所の子どもたち (3月29日撮影)

# 一般会計 歳出



■結婚、出産、子育て、教育支援等の充実と定住人口増への取組み

結婚・新生活支援として住宅リフォーム費用も助成対象としたほか、出産祝金、高校生までの医療費無料化、修学旅行費の全額助成など、教育費の保護者負担軽減策や、奨学金貸付事業等に引き続き取り組んでいきます。

■スマート農業の推進とコロナ禍での経済対策の実施

産業振興では、農作業の効率化を図るため新たにスマート農業支援員を設置す

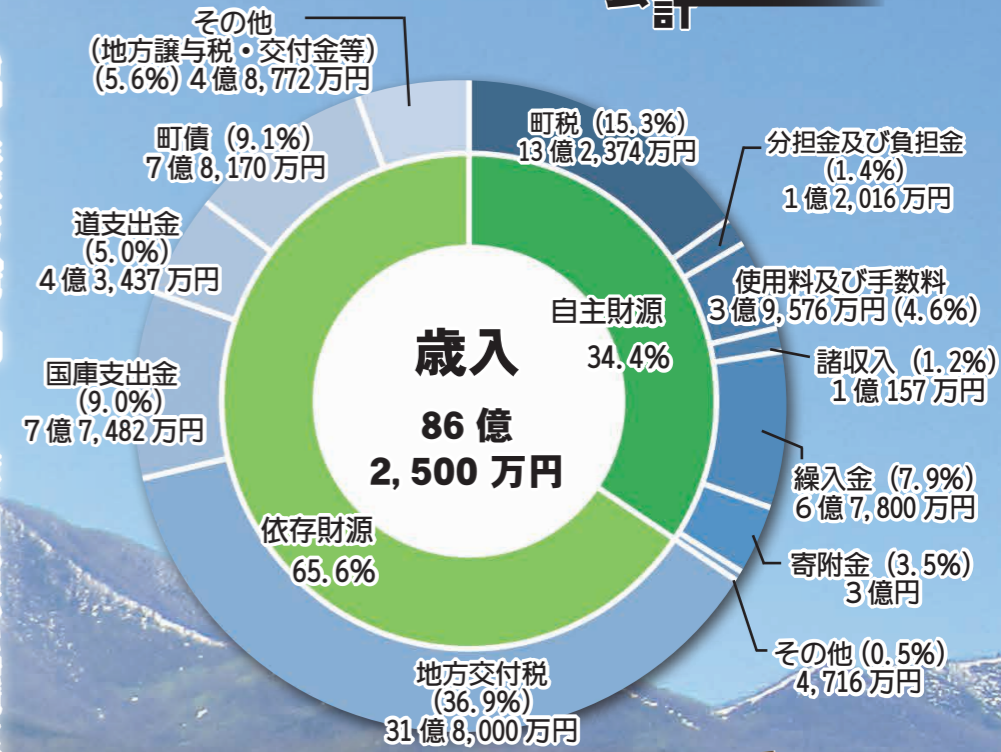
また、定住人口増加対策として、マイホーム取得奨励金の対象を子育て世帯以外にも拡充しました。

■ゼロカーボンの推進、行政手続きのオンライン化、開町120年に向けた各種事業の実施

昨今の社会変化による新たな課題である「ゼロカーボン・脱炭素社会」推進の戦略策定を行うとともに、住民サービスの向上を図るため、マイナンバーカードを利用した行政手続きのオンライン化を進めていきます。

さらに本町は今年、開町120年を迎えるため、各種記念事業を実施します。

# 一般会計 歳入



令和4年度は、「第6期清水町総合計画」で目指すまちの将来像の実現に向けて、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスへの対策を講じながら、経済対策や産業基盤の維持、安全・安心な暮らしと、生活の安定を図るための子育て教育支援、福祉・医療対策、自然豊かな環境を活かした定住促進・まちの魅力発信について、盛り込んだ予算編成を行いました。

■町税は農業所得の伸びや大規模家屋の新設等で前年度比4.7%の増

一般会計歳入では、町税が農業所得の伸びや大規模

家屋等の新設などにより、前年度5993万円の増となりました。

町営住宅建設事業等をはじめ、公共施設やインフラの老朽化対策に対応するため、基金からの繰入や地方債を活用するなどし、財政健全化に努めながら実施します。

### 令和4年度当初予算 (前年度比)

一般会計 86億2,500万円 (7.7%増 6億1,700万円増)

特別会計・公営企業会計 37億5,920万円 (2.4%増 8,880万円増)

合計 123億8,420万円 (6.0%増 7億580万円増)

# 特別・企業会計 予算

特別・企業会計	予算額	前年度比
国民健康保険	13億300万円	1,200万円増 (0.9%増)
後期高齢者医療保険	1億9,600万円	90万円減 (0.5%減)
介護保険	11億9,330万円	4,530万円増 (3.9%増)
公営企業水道事業	4億7,830万円	2,470万円増 (5.4%増)
公営企業下水道事業	5億8,860万円	770万円増 (1.3%増)
合計	37億5,920万円	8,880万円増 (2.4%増)

# 債務残高の状況

区分	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
地方債残高			
一般会計	113億7,899万円	114億4,003万円	111億195万円
水道事業	8億7,675万円	8億7,896万円	9億1,213万円
下水道事業	3億8,540万円	4億1,022万円	4億4,970万円
地方債残高合計	126億4,114万円	127億2,921万円	124億6,378万円
債務負担行為残高 (翌年度以降支出額)	3億4,075万円	5億2,900万円	3億9,614万円
債務残高合計	129億8,189万円	132億5,821万円	128億5,992万円

# 基金残高の状況

区分	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
基金残高合計	40億1,676万円	38億6,080万円	31億4,773万円

# 特集

# 令和4年度まちづくりの 予算と方針

令和4年度の予算が決まりました。一般会計の総額は86億2,500万円、前年比6億1,700万円 (7.7%) の増加です。皆さまの税金などで支えられているまちの財源を、どのように使い、まちづくりに取り組むのかを、主な事業概要とともにお知らせします。

■お問い合わせ先 総務課財政係 (☎62-2111)

[令和4年度 主な事業概要]

■各種移住定住促進奨励金事業及び補助事業

予算額 **4,215** 万円 [総務費]

**拡充**

本町への移住・定住促進のため、各種助成を実施します。

■移住者賃貸住宅家賃奨励金交付事業

町内賃貸住宅への移住者（単身者・公務員等を除く）に対し家賃の一部を最大2年間助成します。

・予算額 355万円

■しみずマイホーム取得奨励金交付事業

マイホームの新築・中古住宅の購入に対し助成します。

今まで子育て世帯・移住者が対象だったものを、今年度から町内在住の全ての世帯を対象を拡充します。

・予算額 2,260万円

■清水町住宅リフォーム・太陽光発電システム導入奨励金交付事業

町内業者の施工による住宅リフォーム及び太陽光発電システム導入（町外業者施工可）経費に対し助成（ハーモニー商品券交付）します。

・予算額 500万円

■定住促進賃貸住宅補助金交付事業

町内に2LDK以上の世帯向け賃貸住宅を建設・改修する町内事業者に費用を一部助成します。

・予算額 1,100万円

☎ 商工観光課移住定住促進係 ☎ 62-1156



■十勝しみず移住促進協議会補助事業

予算額 **148** 万円 [総務費]

**新規**

町内移住者同士の相互交流をはじめ、移住希望者の受け入れ、住宅相談、雇用対策等の窓口を統合して対応します。



☎ 商工観光課移住定住促進係 ☎ 62-1156

■地域再エネ導入戦略策定事業

予算額 **1,000** 万円 [総務費]

**新規**

脱炭素社会構築を目指して、本町における二酸化炭素排出の現状と地域再生エネルギーの導入状況を把握するとともに、地域再生エネルギーの可能性を整理し、2050年ゼロカーボンの達成に向けた戦略を策定します。



↑「ミライに繋ぐゼロカーボンとち清水宣言」のロゴマーク

☎ 企画課企画統計係 ☎ 62-2114

■地域公共交通確保事業

予算額 **1,484** 万円 [総務費]

コミュニティバス及び清水帯広線バスの運行助成と、移動手段のない交通弱者を支援するため、「買い物・銀行バス」を試行運行します。

■コミュニティバス・清水帯広線バス・買い物銀行バス運行事業等

・予算額 1,034万円

■コミュニティバス車両更新事業

・予算額 450万円

☎ 企画課企画統計係 ☎ 62-2114



■結婚新生活支援補助事業

予算額 **180** 万円 [総務費]

**拡充**

本町に住民票を有している新婚世帯に対し、住宅取得や賃貸費用、引越費用に加え、今年度からは住宅リフォーム費用の助成についても拡充して、30万円を上限に助成します。（ただし、年齢・所得制限があります）



☎ 企画課企画統計係 ☎ 62-2114

町民1人あたりの予算

**945,309** 円



町民1人あたりの予算（一般会計）は？

令和4年度一般会計当初予算の町民一人あたりに使われる金額は次のとおりです。

※総額 86億2,500万円を令和4年2月末の人口 9,124人で計算しています。

特に民生費（高齢者や障がい者・福祉・子育て支援）や、土木費（道路・公営住宅・除雪）、農林業費（農林業の振興）、総務費（行政運営の経費・コミュニティ活動）などの構成比が大きくなっています。

<p><b>議会費</b></p> <p><b>9,224</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>議会運営、議会の活性化のために</p>	<p><b>総務費</b></p> <p><b>106,436</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>行政を運営するための事務経費、財産管理、税務事務やコミュニティ活動などのために</p>	<p><b>民生費</b></p> <p><b>165,434</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>高齢者、障がい者などの福祉の増進や、保育所にかかる経費など子育て支援のために</p>	<p><b>衛生費</b></p> <p><b>98,042</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>予防接種や健診助成などの健康増進事業や、ごみ処理などの環境対策のために</p>
<p><b>労働費</b></p> <p><b>1,156</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>安定した雇用の確保や勤労者の福祉増進など就労対策のために</p>	<p><b>農林業費</b></p> <p><b>126,117</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>農林業の振興、農地保全、循環型農業の推進などのために</p>	<p><b>商工費</b></p> <p><b>24,710</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>商工業の発展や観光振興、中小企業支援や地域活性化商品券事業などのために</p>	<p><b>土木費</b></p> <p><b>138,017</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>道路、河川や橋、公営住宅、公園などの整備及び維持管理、除雪対策のために</p>
<p><b>消防費</b></p> <p><b>35,415</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>消防活動や救急活動、消防施設の整備や維持管理などのために</p>	<p><b>教育費</b></p> <p><b>94,451</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>小中学校の管理運営や施設整備、文化・スポーツ、生涯学習の推進などのために</p>	<p><b>公債費</b></p> <p><b>125,560</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>これまで施設整備資金として借り入れたお金の返済のために</p>	<p><b>その他</b></p> <p><b>20,747</b> 円</p> <p>(町民1人あたりに使われる金額)</p> <p>将来の負担に備えた基金への積み立てや、役場運営に必要な経費のために</p>

## ■スマート農業支援事業

予算額 **457** 万円 [農林業費] **新規**

スマート農業の更なる普及促進のため、生産者への指導・相談業務等を担えるスマート農業支援員を設置します。GPSやドローンによる労働力の軽減、バイオマス消化液活用による化学肥料の削減など、先進技術の導入による農作業や農業生産の効率化に取り組めます。



☎ 農林課農政係 ☎ 62-2112

## ■畑作総合振興事業

予算額 **1,726** 万円 [農林業費]

町内の畑作振興のため、農業者等へ各種支援を行います。

■野菜振興・防疫対策	予算額 115 万円
■にんにく生産対策	予算額 294 万円
■堆肥ペレット利用促進対策	予算額 400 万円
■てん菜増産対策	予算額 108 万円
■てん菜ストックポイント整備対策	予算額 249 万円
■土壌病害虫対策	予算額 460 万円
■てん菜施設機械整備対策	予算額 100 万円

☎ 農林課農政係 ☎ 62-2112

## ■乳用育成牛共同預託施設等整備補助事業

予算額 **574** 万円 [農林業費] **新規**

農業者が共同で利用する乳用育成牛の預託施設等の整備補助として固定資産税相当額の2分の1を助成(3カ年)します。



☎ 農林課畜産係 ☎ 62-2112

## ■清掃センター最終処分場廃止事業

予算額 **387** 万円 [衛生費] **新規**

令和元年にごみの受入れを終了した最終処分場の閉鎖に向けて、調査及び手続きを進めます。

☎ 町民生活課生活環境係 ☎ 67-7555

## ■特定健康診査等無料化事業

予算額 **989** 万円 [衛生費] **拡充**  
[国民健康保険特別会計]

早目健診、後期高齢者健診及び国保加入者の特定健康診査を全額助成し、病気の早期発見と受診率向上を目指します。

### ■若年者(早目)健康診査(衛生費)

・予算額 85 万円

### ■後期高齢者健康診査(衛生費)

・予算額 145 万円

### ■国保加入者特定健康診査(国民健康保険特別会計)

・予算額 759 万円



☎ 保健福祉課健康推進係 ☎ 67-7320

## ■自給飼料品質向上対策助成事業

予算額 **225** 万円 [農林業費] **新規**

デントコーンの品質向上を目的とした取り組みに対して助成します。

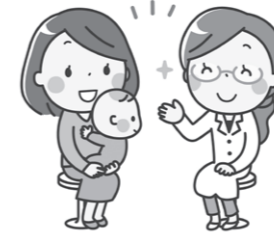


☎ 農林課畜産係 ☎ 62-2112

## ■子ども医療費無料化事業

予算額 **2,000** 万円 [民生費]

子どもたちが安心して医療機関を受診できるよう、18歳までの子どもにかかる医療費自己負担分(入・通院)の全額を助成します。



☎ 町民生活課保険係 ☎ 62-1151

## ■出産祝金支給事業

予算額 **1,405** 万円 [民生費]

お子様の健やかな成長と、子育てを応援するため、出産祝金を支給します。

第1子には10万円、第2子には30万円、第3子以降には50万円をお渡しいたします。



☎ 子育て支援課児童保育係 ☎ 69-2226

## ■保育業務管理システム導入事業

予算額 **366** 万円 [民生費] **新規**

令和5年度に、しみず保育所と清水幼稚園を統合し、認定こども園としての運営を進めるにあたり、保育ICTシステムを導入し、質の高い保育・幼児教育の提供を目指していきます。

子どもの健康管理や成長発達等の情報共有がしやすくなることで家庭との連携を深めていきます。



☎ 子育て支援課児童保育係 ☎ 69-2226

## ■簡易宿泊・民泊サイト等利用手数料給付事業

予算額 **54** 万円 [総務費] **新規**

移住希望者や旅行者等の関係人口の増加を図るため、町内の空き家・空き店舗を活用した民泊サイトへの登録者にサイト利用料を助成します。



☎ 商工観光課移住定住促進係 ☎ 62-1156

## ■まちづくり町民ツアー事業

予算額 **150** 万円 [総務費] **新規**

本町の開拓に関わった渋沢栄一翁の生誕の地である埼玉県深谷市及び終焉の地である東京都北区への町民ツアー視察研修(20人程度)を実施します。



☎ 企画課企画統計係 ☎ 62-2114

## ■行政手続オンライン化対応事業

予算額 **1,144** 万円 [総務費] **新規**

マイナンバーカードを利用し、子育てや介護の手続きをオンラインで行えるようにします。

☎ 総務課行政管理係 ☎ 62-2111

## ■税務手続電子化推進事業

予算額 **519** 万円 [総務費] **新規**

eLTAX(エルタックス)を利用して、固定資産税と軽自動車税種別割の納税手続きを、インターネット等を利用して軽自動車の手続き(検査申請・税申告等)を令和5年から行えるようにします。

☎ 税務課町民税係 ☎ 62-1152

## ■高校生タブレット等購入支援事業

予算額 **195** 万円 [教育費]

新規

町内に在住し、新たに高校に入学するお子さんの保護者に対して、学習用タブレット端末の購入等の経費（1人あたり30,000円）を助成します。



問 学校教育課学校教育係 ☎ 62-5138

## ■奨学金貸付金事業

予算額 **2,706** 万円 [教育費]

経済的理由等により修学が困難な学生に学資を無利子でお貸しします。

新入学生には、入学前（年度前）に入学金・修学金を貸付します。

償還期間は卒業後10年間ですが、町民となり、5年以上就業（職業・勤務地は不問）し、その後も就業する意思のある人は償還が免除されます。



問 学校教育課学校教育係 ☎ 62-5138

## ■少年スポーツ奨励事業

予算額 **119** 万円 [教育費]

拡充

スポーツ少年団指導者活動報酬の交付や、野球教室の開催への支援等のほか、今年度からスポーツ少年団指導者資格取得費用の助成も行います。



問 社会教育課スポーツ係 ☎ 62-5115

## ■町営住宅建設事業

予算額 **1億 1,287** 万円 [土木費]

老朽化が進んでいる御影地区の町営住宅について、高齢者や障がい者、子育て世帯に対応したユニバーサルデザインの住宅整備を進めます。

今年度は、御影西都団地（2棟4戸）の建設工事及び外構工事等を実施します。



問 建設課住宅都市係 ☎ 62-2113

## ■教育費保護者負担軽減事業

予算額 **913** 万円 [教育費]

子育てに伴う経済的な負担軽減を図るため、小・中学生のスキー授業経費の助成及び修学旅行費用の全額助成を行います。



問 学校教育課学校教育係 ☎ 62-5138

## ■清水高校振興会助成事業

予算額 **943** 万円 [教育費]

拡充

清水高校の振興を図るため、インターネット授業や資格検定など進路対策支援、御影地区から通学する生徒の通学費の補助等のほか、広報活動として学校動画の作製等を行います。

今年度から、清水高校に入学する生徒へ学習用タブレット等端末購入費の経費（1人あたり30,000円）を助成します。



問 学校教育課学校教育係 ☎ 62-5138

## ■町道整備事業

予算額 **2億 560** 万円 [土木費]

町道の舗装改良などの整備を行います。

### ■町道わだち掘等舗装補修事業

（御影1丁目道路、下佐幌西1線南道路）

・予算額 2,796万円

### ■町道凍害防止事業（人舞17号西道路）

・予算額 1,463万円

### ■町道舗装整備事業（下佐幌基線北道路）

・予算額 6,000万円

### ■町道改良舗装整備事業

（西清水北1条仲道路・御影西2条仲道路）

・予算額 1億301万円

問 建設課土木係 ☎ 62-2113

## ■橋梁長寿命化修繕事業

予算額 **3億 683** 万円 [土木費]

共栄橋修繕工事及び里宮橋修繕工事のほか、町内105橋の橋梁定期点検を実施します。



問 建設課土木係 ☎ 62-2113

## ■都市計画マスタープラン策定事業

予算額 **515** 万円 [土木費]

新規

将来、都市計画を定める際の総合的な指針となるマスタープランを策定します。

社会・経済情勢の変化で生じた課題に即した用途地域の見直しを進めます。



問 建設課住宅都市係 ☎ 62-2113

## ■牛乳消費拡大推進事業

予算額 **200** 万円 [農林業費]

拡充

牛乳の消費拡大を推進するため、町内イベント等での牛乳の無償提供や、消費拡大運動を例年よりも拡充して実施します。



問 農林課畜産係 ☎ 62-2112

## ■清水町起業等スタートアップ支援事業

予算額 **440** 万円 [商工費]

新規

新規起業に伴う費用や雇用に対して助成します。また、現在営業している店舗の改修費用も助成対象となります。

- ・店舗及び土地取得 1/2 補助
  - ・賃貸店舗等家賃 7/10 補助
  - ・既存店舗等改修 1/2 補助
  - ・雇用助成（町内居住者）1人につき年間50万円
- ※いずれの助成にも上限額があります。



問 商工観光課商工観光係 ☎ 62-1156

## ■観光振興事業（観光協会補助金）

予算額 **482** 万円 [商工費]

拡充

観光振興のため、観光協会に補助金を交付します。今年度から、渋沢栄一翁の縁を生かして、東京商工会議所及び東京都北区等で物産販売を軸とした経済交流を実施します。



問 商工観光課商工観光係 ☎ 62-1156

pick ★ up **開町120年 記念事業 予算**

# みんなで開町120年を祝おう!

清水町は今年『開町120年』を迎えます。令和4年度に下記の事業を実施する予定です。まちぐるみで開町120年をお祝いしましょう!



フォトコンテストやシンポジウムなどを開催!

## 開町120年記念事業

予算額 **314** 万円 [総務費]

開町120年をお祝いする機運を高めるため、新聞広告への掲載や懸垂幕の設置、開町記念日にあわせて「シンポジウム」を開催します。

また、本町の更なる魅力を発掘する「フォトコンテスト」も実施。応募された作品は令和4年度中に作製予定の町勢要覧等に使用します。

事業	予算
新聞広告	149万円
懸垂幕	35万円
シンポジウム	100万円
フォトコンテスト	30万円

☎ 企画課企画統計係 ☎ 62-2114

気持ちをひとつに第九を声高らかに!

## 第九演奏会

予算額 **316** 万円 [教育費]

1980年以降現在まで8回開催してきた第九演奏会。開町120年を記念して「第九のまち十勝清水」を町内外に広く発信します。



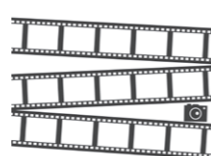
☎ 社会教育課社会教育係 ☎ 62-5115

あらためて町の歩みを知ろう!

## 懐かしの清水町展

予算額 **82** 万円 [教育費]

昔の町並みや出来事などの懐かしい写真を清水・御影地区で展示。会場では開町70年時に作製した映画『豊かな清水』の上映も行います。



☎ 社会教育課社会教育係 ☎ 62-5115

120年記念事業を実施する町民団体を支援!

## 町民提案型 まちづくり事業補助金

予算額 **282** 万円 [総務費]

例年、町民団体が行う事業に支援を行っている同補助金に対し、令和4年度に限り120年記念事業を実施する場合には、更に上限50万円まで加算します。

☎ 企画課企画統計係 ☎ 62-2114



## 地域活性化商品券事業

予算額 **8,320** 万円 [商工費]

町民の生活支援と地域の消費購買力を伸ばすためプレミアム付き商品券の発行を支援します。



- ・6月販売(予定) プレミアム率30% 13,000組
  - ・10月販売(予定) プレミアム率20% 13,000組
  - ・2月販売(予定) プレミアム率20% 7,000組
- ※2月販売分はハーモニーカード普及対策を含む

☎ 商工観光課課商工観光係 ☎ 62-1156

## 中小企業への各種支援事業

予算額 **3,743** 万円 [商工費]

■中小企業近代化資金貸付事業 (新型コロナウイルス貸付特例分)

- ・予算額 2,908万円



■中小企業特別利子等補助事業

コロナ禍で業績が悪化した中小企業者が金融機関等から融資を受けた制度資金に対する保証料と利子を補助します。

- ・予算額 10万円

■小規模事業者持続的発展支援事業

新型コロナウイルス予防対策のための設備投資や販路開拓を目的とする国の持続化補助金の自己負担分の一部を助成します。

- ・予算額 108万円

■中小企業等事業再構築促進事業

新分野展開や業態転換等の取組みを通じた規模拡大を目的とする国の再構築促進事業補助金の自己負担分の一部を助成します。

- ・予算額 117万円

■中小企業者等影響緩和特別支援事業

コロナ禍の影響で売上が特に減少した中小企業者に対し支援します。(ただし国・道の支援制度が無い場合に限りです)

- ・予算額 600万円

☎ 商工観光課課商工観光係 ☎ 62-1156

知りたい! **新型 新型コロナウイルス 対策予算**



新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種をはじめ各種事業を実施します。

## 新型コロナウイルスワクチン接種事業

予算額 **2,390** 万円 [衛生費]

新型コロナウイルスワクチンの接種について、町民が安心して接種できるよう進めていきます。



☎ 保健福祉課健康推進係 ☎ 67-7320

## 福祉医療施設等感染症 拡大防止支援事業 **拡充**

予算額 **900** 万円 [衛生費]

町内の福祉・介護・医療施設に対し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒や検査等に要する費用を今年度は2倍に拡充し支援します。



☎ 保健福祉課健康推進係 ☎ 67-7320

## 感染症対策用物品確保事業

予算額 **172** 万円 [衛生費]

町有施設用に新型コロナウイルス対策用のマスク、消毒用アルコール等の衛生用品を購入します。



☎ 保健福祉課健康推進係 ☎ 67-7320

## 第九のまち十勝清水から発信

昨年からスタートした「合唱ワークショップ」「しみずBRASS」の企画。その活動の様子を参加者などのインタビューを交えながら紹介します！

# ♪ 音楽で つながる ♪

今後、教育委員会では合唱サークルと吹奏楽団の団体を立ち上げる予定です！  
興味ある方はぜひお問い合わせください。

【お問い合わせ】  
教育委員会社会教育課 ☎ 0156-62-5115

皆様の参加を お待ちしています！



【令和3年12月撮影】

## しみず BRASS

blankがあっても  
演奏することは  
やっぱり楽しい！

合奏イベント「しみずBRASS Sみんなで大合奏」の第1回目が昨年12月に開催され、町内外から56人が参加しました。  
指導は、堀江龍太郎さん（地域おこし協力隊文化芸術協力員）が務め、課題曲のベートーヴェンの交響曲第9番をロック調にした「第九ブラスロック」などを演奏。堀江さんの指揮に合わせ、会場に高らかな音色を響かせていました。  
参加者の大半は学生時代などに吹奏楽を経験されており、サクソフット、ホルン、チューバなどの楽器を持参し合奏に挑戦されていました。参加者からは「blankがあっても不安だったが気持ちよく演奏できた。」との感想も。  
1月に第2回目が開催された後、新型コロナウイルスの影響で延期や中止が続いた中、3月に道内の吹奏楽愛好者を対象に、リモート合奏会「全道宝島」を開催。道内各地から58名の参加者が集まりました。その演奏の動画を、4月上旬に町公式YouTubeチャンネル「うつつちゃんねる」で公開しています。  
今後はサークル化し、吹奏楽団を結成する予定。10月の演奏会の開催を目標に活動していきます。



【令和4年1月撮影】

## 合唱 ワークショップ

歌うことの楽しさを  
あらためて実感！

「合唱ワークショップ日本」のうたは、第九文化継承事業の一環として、町内の合唱愛好者を増やすことと企画された事業です。  
昨年12月に文化センターを会場として、初めて開催された同ワークショップには声楽家の延与幸恵さんを講師に招き、24名が参加。課題曲には「ふるさと」など馴染みのある曲が用意されました。  
延与さんから、大きい声を出すコツや、声を出しやすくするための体操などがわかりやすく指導され、初めは緊張で小さかった参加者の声も講座が終了するころには、のびのびとした声へと上達していました。  
1月に2回目を開催した後、新型コロナウイルスの影響で全4回の開催のうち、残念ながら残り2回を中止にせざるを得ない状況となりました。  
令和4年度は同ワークショップは開催できませんが、今年の12月開催予定の第九演奏会に向けて、合唱団を結成する予定です。講師には、延与さんと第九のソリストの方を招いて指導いただく予定です。  
合唱に興味のある方、ぜひご参加ください。

「より深く吹奏楽を楽しんでみませんか？」

地域おこし協力隊  
堀江 龍太郎 さん



指導者  
から♪

開催回数を重ねるごとに参加者の上手になりたいという熱意を感じているという堀江さん。「今後、演奏会を目標に、吹奏楽団として本格的にスタートさせることをわくわくしています。町内外を問わず、深く吹奏楽を楽しみたいという方、参加をお待ちしています。ぜひご連絡をください！」と話していました。

「勉強にもなるし、  
音楽の知り合いが  
増えて楽しいです！」

藤田 そら さん  
(清水中1年)



参加者の  
声♪

昨年から吹奏楽を始めたという藤田さんはトロンボーン奏者。小学生まで清水ジュニアプラスバンドで活動、中学校でも吹奏楽部に入部する予定だそうです。「この企画に参加してとても勉強になるし楽しい。また年齢に関係なく音楽での知り合いが出来てうれしいです。これからも参加していきたい。」と話されました。

「一番の基本は  
楽しく歌うこと」

声楽家  
延与 幸恵 さん



指導者  
から♪

清水町出身の延与さん。その縁もあって講師として招かれ、参加者が自然体で歌えるよう発声のしかたなどを指導されました。「一番の基本は楽しく歌うこと。いい声が出ると気持ちがよくなります。自分の思いを声にのせて遠くへ歌う、そんなイメージで歌っていただけたらと思います。」と話されていました。

「親子で楽しみながら  
合唱を体験！」

まや  
佐藤 真弥 さん  
りいあ  
璃衣彩 さん  
(御影小4年)



参加者の  
声♪

「音楽が大好き！」という璃衣彩さんと一緒に参加したという母親の真弥さん。お二人とも「合唱のレッスンは初めて。最初は緊張して、音程を間違えないようにすることで必死でした。でも講師のおかげで上手になっていくことがわかると、歌うことがだんだん楽しくなりました。」と笑顔で話してくれました。

## 4つの「助」で支え合う地域づくり

いくつになっても住み慣れた地域で生活し続けることを望んでいる方は多いと思います。地域での生活を続けるためには、4つの「助」(自助・互助・共助・公助)の連携によって解決する仕組みが必要であると言われています。

**【自助】(個人とは)**  
自分で自分を助けること。自分の力で住み慣れた地域で暮らすために、自らの健康に注意を払い介護予防運動に取り組んだり、健康維持のために検診を受けたり、必要時に受診するといった、自発的に自身の生活課題を解決する力です。

**【互助】(近隣とは)**  
家族や友人、サークルやクラブの仲間など、個人的な関係性を持つ人同士が助け合い、それぞれが抱える生活課題をお互いが解決し合う力です。

**【共助】(保険とは)**  
制度化された相互扶助のことで、医療・年金・介護保険・社会保険制度など被保険者による相互の負担で成り立つものです。

**【公助】(行政とは)**  
自助・互助・共助では対応できないことに対して最終的に必要

要な生活保障を行う社会福祉制度のことです。その他に、地域事情に合わせた困りごとの解決を目的とした町独自の福祉サービスもこれにあたります。

4つの「助」の基礎は、「自助」と言われていますが、自分自身が行き詰った時には他からのサポートが必要となります。また、時には自分もサポートする側に回るといような人同士が支え合う「互助」が大切になります。それでも、住民同士の支え合いには限界があるため、必要に応じて自身の「権利」として利用できる「共助」による対応も必要になります。

最後に、町では「公助」にあたる町独自の在宅福祉サービスを提供しているの、「自助」「互助」「共助」「公助」をバランスよく活用し、町民の皆さんが、住み慣れた地域での生活に不安なく過ごしていただけたらと考えています。



◆お問い合わせ先  
保健福祉課  
在宅支援係  
☎ 69-2222

## 清水歴史探訪【19】 『まちの歴史をひも解く』 ①「教育の先駆け『北星園』(前)」

清水町は教育の分野において先進的な地域です。それは明治42年8月山田範三郎によって設置運営された『北星園』の活動に始まります。山田範三郎は岐阜県和田村に生まれ、明治18年山田金次郎の養子となり、12歳の時に飛騨育児園(岐阜県古川町)に入所していました。同育児園は、社会事業家の五十嵐喜廣によって明治28年に創設。院長でもあった五十嵐は、社会福祉と地域、福祉施設と地域諸団体、職員・入居者と地域住民の協力・連携を日常とする福祉事業の新しい理念や処遇のあり方など、現代に通ずる理念と実践のあり方を追求した先駆者でした。また、五十嵐は、日本が資本主義国家としてまだ安定していない時代に、国内8ヶ所、海外5ヶ所に児童養護施設を展開し、「院児の自立を支える最適な方法は農業にある。孤児をなるべく孤児院に入れない、長



最初に建てられた北星園

院」の分院を北海道につくることを計画。その意を受け、北海道で分院の土地選定に当たったのが、院児であった山田範三郎でした。範三郎は事務員の鈴木幸と孤児8名を伴って、十勝国入道村下佐幌に入植。五十嵐も来道し、札幌農学校出身の宮部金吾や大島金太郎ら7名に、日本育児院人舞農場の顧問を依頼しています。明治36年当時、下佐幌では三重県からの自作農の入植があり、8戸が生活していました。範三郎たちは、先入植者である山村国太郎宅に間借りしながら「おがみ小屋」(藁葺きの掘立小屋)を建てました。それが北星園の始まりとなったのです。(後編へ続く)

・文責 北村 光明  
(十勝清水郷土史研究会)

「HELLO BABY」は、6か月から2歳くらいの赤ちゃんを掲載しています。希望される方は広報広聴係までお気軽にどうぞ。写真はメールでも受け付けています！  
mail:koho1@town.shimizu.hokkaido.jp



乾川陽平 ちゃん

我が家のアイドル「よーぺい」です！



滋谷陸功 ちゃん

いっぱい食べて大きくなってね♪



## 大人も子どもも要注意！ 「スマホ老眼」

倉重千晶 保健師

スマホを見た後に遠くを見ると、視界がぼやけたり、若年層であるにも関わらず、近くのものに焦点が合わせにくいということはありませんか？  
スマホの普及とともに、目のピント調整がうまくできなくなる症状が増えており「スマホ老眼」と呼ばれるようになりました。目には、レンズの働きをする水晶体と、その厚みを調整する毛様体筋という筋肉があります。遠くを見るときは、毛様体筋がゆるみ水晶体が薄くなり、近くを見るときは、毛様体筋が緊張し水晶体が厚くなります。スマホは目の距離が近く、画面が小さいので目をほとんど動かさないことから、毛様体筋はずっと緊張したままになります。また、画面から放出されるブルーライトといつても強い光が、近い位置から目に入り続けるため、より目への負担が増します。このような状態が長く続くと、毛様体筋が凝り固まってピント調整がうまくできなくなるのです。この状態を放っておくと、見えにくいだけではなく、集中力の低下やイライラを招き、肩こりや頭痛、自律神経障害などの全身症状を引き起こすことになるので注意が必要です。  
**【スマホ老眼の予防・改善策】**  
① スマホ画面と目の距離を40cm以上離す。  
② 画面を10分見るごとに1〜2秒間遠くを眺める。(最低でも1時間に10分休憩し、目を閉じたり、遠くを眺める)  
③ 意識的にまばたきをして目の乾燥を防ぐ。  
④ ホットタオルなどで目の周りを温め、血行を促して目の疲労回復を図る。  
⑤ ブルーライトをカットするフィルムを利用する。  
⑥ 画面を見る時間を極力減らす。  
今や生活必需品となりつつあるスマホと仲良くお付き合いを続けるために、目の筋肉をホッと緩める習慣が身につくことが大切です。



## 図書館だより

毎月19日は読(19)書の日

### 新着図書からピックアップ



『暁の宇品 陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』

堀川恵子著

日本の近代戦争で、海上輸送の要であった広島市宇品(うじな)の船舶司令部。歴代の司令官が奔走し、作り上げた船舶輸送体制は、島国として最も重要でありながら、次第に軍中枢で軽視されていき…。

戦時下の輸送を題材とした本ですが、上層部が現場の声を聞き入れずに体制が崩壊する様は、現在の組織運営への教訓にもなる一冊です。

- 『母を待つ里』 浅田次郎著
- 『鑑定人 氏家京太郎』 中山七里著
- 『サンセット・サンライズ』 楡平平著
- 『怪物』 東山彰良著
- 『自分の意見で生きていこう』 ちきりん著

## みど教育の四季

春～さわやかな風の中で 元気に力強く  
中学校生活への意気込みや思いを込めた  
「四文字熟語」

6年生の卒業記念作品「四文字熟語」。子どもたちは自分で考え、選んだ「四文字熟語」を大筆で条幅紙に思いを込めて、一文字一文字を力強く、そして丁寧に書き上げました。作品が仕上がるまで、子ども一人ひとりに寄り添い、文字の特徴や書き方のポイントなどを優しく指導・アドバイスをいただいた書写ボランティアの皆様へ感謝です。

おかげさまで、子どもたちにとって思い出に残る、個性豊かで、納得のいく素晴らしい作品になりました。卒業式には体育館や廊下に掲示され、保護者や在校生に披露されました。



真剣に字を書き上げる子どもたちの姿はとて立派でした

### スポーツ優秀賞【最優秀部門】

受賞者氏名	団体名・学校名	学年	種目
小野田 蓮	清水高等学校	3年	アイスホッケー

### スポーツ優秀賞【優秀部門】

受賞者氏名	団体名・学校名	学年	種目
内田 勘太	北海道栄高等学校	2年	陸上
清水高等学校アイスホッケー部 (29名)			アイスホッケー

### スポーツ優秀賞【奨励部門】

受賞者氏名	団体名・学校名	学年	種目
及川 千暉	白樺学園高等学校	2年	陸上
吉田 海青	白樺学園高等学校	2年	陸上
吉田 光青	白樺学園高等学校	2年	陸上
三田 朝陽	北海高等学校	1年	柔道

### ジュニアスポーツ優秀賞【優秀部門】

受賞者氏名	団体名・学校名	学年	種目
泉 弥久雲	清水小学校	5年	野球
砂田 小粋	清水小学校	3年	野球

### ジュニアスポーツ優秀賞【奨励部門】

受賞者氏名	団体名・学校名	学年	種目
泉谷 京	清水中学校	3年	陸上
工藤 駿季	清水中学校	3年	野球
榊 聖矢	清水中学校	3年	野球
鎌田 倅	清水中学校	2年	陸上
佐藤 煌晟	清水中学校	2年	陸上
村谷 智花	清水中学校	2年	アイスホッケー
寺内 姫夏	御影中学校	1年	アイスホッケー
大城 源志	清水中学校	1年	柔道
入澤 和叶	御影小学校	6年	空手
桐木 結風	清水小学校	6年	トランポリン
竹俣 漣凰	清水小学校	6年	陸上
安藤 愛菜	清水小学校	5年	陸上
中村 吏翔	御影小学校	5年	野球
大城 海志	清水小学校	4年	柔道
大谷 湊	清水小学校	2年	柔道
門木 嗣夢	御影小学校	2年	スピードスケート
高薄 駿	清水小学校	1年	柔道
清水町剣道連盟 (3名)			剣道
清水御影アイスホッケー少年団 (20名)			アイスホッケー

### 文化優秀賞【奨励部門】

受賞者氏名	団体名・学校名	学年	種目
上谷 春日	清水高等学校	3年	書道
大東 結	帯広大谷高等学校	2年	絵画
清水高等学校 (4名)			製パン
清水高等学校 (3名)			料理
清水高等学校 (2名)			製菓

### ジュニア文化優秀賞【優秀部門】

受賞者氏名	団体名・学校名	学年	種目
井上 稀央	御影中学校	3年	木工

### ジュニア文化優秀賞【奨励部門】

受賞者氏名	団体名・学校名	学年	種目
匂坂 友香	清水中学校	3年	書道
長谷川 慶治	清水中学校	3年	作文
木幡 修也	清水中学校	2年	書道
番匠 華乃	清水小学校	6年	書道
大場 虹碧	清水小学校	5年	書道
小澤 茉里乃	清水小学校	5年	書道
篠原 匠	清水小学校	4年	書道
佐藤 璃衣彩	御影小学校	3年	エレクトーン
谷口 諒	清水小学校	3年	工作
尾崎 雪羽	清水小学校	2年	書道
崎山 ひなの	清水小学校	1年	書道



## 文化賞・スポーツ賞 (学生部門) の受賞者紹介!

令和3年度の清水町文化賞・スポーツ賞(学生部門)表彰式が3月21日に開催されました。

式典では各種文化・スポーツ事業において優秀な成績を収められた児童生徒に対し、山下教育長から賞状と記念品が授与されました。

受賞式の出席は個人その他、団体は代表者1名のみとし、保護者については文化センターロビーに設置されたモニターで表彰式を視聴してもらうといった新型コロナウイルス感染症対策が講じられました。

文化賞では、第55回全道高等学校書道展で優秀賞を受賞した清水高等学校の上谷春日さんをはじめ、14個人3団体(総勢23名)が受賞されました。

スポーツ賞では、第77回国民体育大会アイスホッケー競技会少年男子にアイスホッケー少年男子北海道代表のメンバーとして出場し優勝された清水高等学校の小野田蓮さんをはじめ25個人3団体(総勢77名)が受賞されました。

受賞者を代表し、清水高等学校アイスホッケー部の大川皓星さんが「今後も周囲の皆さんへの感謝を忘れず、より一層活躍したいと思います」とお礼の言葉を述べました。

文化・スポーツそれぞれの分野において、優秀な成績を収められた皆さんに心からお喜び申し上げますとともに、今後更なる飛躍をご期待いたします。



謝辞を述べる大川皓星さん



受賞者には賞状とメダルを贈呈



ロビーで式典を視聴する保護者

人口 9,085人 (-39)  
 男 4,481人 (-19) 女 4,604人 (-20)  
 世帯数 4,654 (-3)  
 令和4年3月末現在( )は前月比

TOWN EVENT CALENDAR 4/16~5/15

4/16	土	■出張おはなし会 (老人福祉センター 13時30分)	5/1	日	■エントランスホール展「清水町たまちゃんのバグ写真展 夢のまた夢」~30日まで(図書10時)
17	日		2	月	
18	月		3	火	
19	火		4	水	
20	水		5	木	
21	木	■運転免許更新時講習 (文セ優良13時30分、一般14時30分、違反16時)	6	金	
22	金		7	土	■岸田典大絵本パフォーマンス(図書13時30分)
23	土	■おはなし会(図書11時30分)	8	日	
24	日		9	月	■町民と町長のふれあいトーク(役場9時)
25	月		10	火	
26	火		11	水	
27	水		12	木	
28	木		13	金	
29	金	町体育館前PG場・御影PG場・清水公園PG場・下佐幌運動公園PG場 オープン予定	14	土	
30	土		15	日	

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承願います。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館  
 ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター  
 消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園  
 清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校

町長の日記

3月15日に、清水高校生が「清水町をサンドする」をテーマにした創作パンを役場庁舎で80個販売。  
 食品分野2年生の学習の一環として、役場での販売となったようです。  
 今年度もパン甲子園優秀賞を獲得した腕前は、さすがに素晴らしい！  
 小麦粉「はるきらり」まで清水町産にこだわったサンド。桃花豚(青木ビッグファーム)と十勝若牛の2種類。そしてパン生地にあすなるファームのバターミルクを使い、味を引き立てており、実に美味しい。清水高校生の皆さん、いつも元気をありがとう！



清水産小麦粉とバターミルク(あすなるファーム)を使用した食パンに、十勝若牛(JA十勝清水町)及び桃花豚(青木ビッグファーム)をそれぞれ味付けしてサンドした2種類のパンを販売。

あとがき

■このたび異動で広報係を離れることに。一番の思い出は道広報コンクールでの「特選」受賞。紙面づくりへの自信にもつながりました。3年間、取材等で皆様にはお世話になりました。今後とも「広報しみず」をよろしくお願います！(下保)

■令和4年度も異動はなく、広報広聴係として皆様に広報紙をお届けすることになりました。新しい年度が始まるということで、自分の中では不安しかありませんが、何とか今年度も頑張って広報紙作成に努めてまいりたいと思います。よろしくお願います！(中澤)

■4月より新たに広報広聴係に配属となりました谷口です。町民の皆さんに楽しんでもらえる紙面づくりを目指したいと思います。これからは、取材などで皆さんのお世話になる機会が多々あると思います。その際はどうぞよろしくお願いたします。(谷口)

インフォメーション

誕生  
 吉田 佑海(和矢/茜)  
 橋本 清生(耀介/歩美)  
 島津 楓(秀児/杏菜)  
 千葉 柚羽(一彦/雪花)  
 徳山 蓮(裕貴/美奈)

哀悼  
 佐藤 進(鉄南)  
 金徳 忠見(北星)  
 高橋 秀雄(文京)  
 白田 静(西清水)  
 森田 清喜(太平)  
 丸山 純希(下佐幌中央)  
 八木 スズ子(西清水)  
 野々村 繁雄(下佐幌平和)  
 柳引 忠晃(熊牛町内)  
 成田 孝子(黎明)

結婚  
 戸田英伯さん×島田美雪さん  
 岩野晃基さん×工藤ひかりさん

広報モニターです

★牛乳消費拡大の特集、5月頃まで生乳廃棄の懸念がある。と知り、酪農の町である清水町のためにも、引き続き牛乳消費に協力していきたい。  
 ★生乳廃棄を回避するためにも、4月以降も企画やPRが必要だと思った。  
 ★給食がない育ち盛りの高校生への牛乳プレゼントは大変素晴らしい取り組み。パンとあわせての牛乳の配付は生徒さんにとってもうれしいのでは。  
 ★特集全体から、酪農家の皆さんへの温かい姿勢を感じた。  
 ★酪農家がコロナで大変な思いをしている。今後町での牛乳や乳製品の消費拡大への協力体制が必要だと思つた。  
 ★掲載されていた牛乳レシピの料理をつくってみた。ほとんどの食材が、町内産・十勝産・北海道産で、子どもたちにも好評だった。今後も牛と酪農家さんに感謝しながらいきたいと思つた。  
 ★これからも牛乳への関心が

長く続いてくれるといいなと思つた。

★小学校の伝統文化体験教室と書道の卒業制作、コロナの影響で様々な学校行事がなくなった中で、経験や思い出が増えてとても良かったと思つた。  
 ★ハローベイビーでお子さんの紹介をもっとしてほしい。  
 ★フォーカス、英語指導助手のアシユリーさんがコロナの影響で来日が遅くなつて大変だったことがわかつた。日本の文化体験で学校の書写授業に参加してもらえたらいいなと思つた。

★そろそろ何か新しい連載を始めてはどうか。(例えば役場の課の紹介とか)  
 ★自分もそうだが、高齢者が増加している現在、横文字に弱い。広報などの文章については、わかりやすい文言での表現をお願いしたい。

訂正とお詫び

広報しみず3月号の「清水消防署の各出動統計」7ページ中、誤りがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。  
 (誤) 火災出動件数 12件  
 (正) 火災出動件数 18件

ちようみん作品館

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

短歌  
 ロシアにより子等も住ひも仕事場も胸に打たれし外国思ふ 坂下洋子  
 【玲瓏短歌会】  
 節分を過ぎれば春はそこまでと待つももどかし暖かき風 村谷三恵  
 読み書きは脳の刺激に一番と己に鞭うち短歌をつむぐ 森山ヤヨイ  
 コロナ禍の五輪メダルは最多なり 高木選手に十勝は歓喜 藤原静子  
 オリオンは南の空に瞬いて 勇士の姿仰ぐ如月 大石 尚  
 子や曾孫と北に居着きて七十年 運命の中の悦びを知る 宗像三郎  
 君子蘭部屋を移せばすくすくと 蕾ふつくら開花待つ日々 田村徳子  
 朝々に「正信偈」唱えは灯のゆれて 声なきこえを聴きつつ 橋本佳代子

# じょうほう かわらばん

3/9



町商工会女性部及び青年部から新入学児童に自由帳・鉛筆等の文具や交通安全のキーホルダーをプレゼントいただきました。

3/9



ファミリーファッションありさわから、しみず保育所・御影こども園・清水幼稚園にマスク約200枚を寄贈いただきました。

3/10



清水小学校が清水国民小学（台湾の台中市清水区）と姉妹校締結を目指して交流を深める覚書を交わしました。

3/23



清水高校2年生（生産技術系列産業分野）から卒園式のお祝いに、ひまわりとパチュニアを清水幼稚園に寄贈いただきました。

3/25



長年にわたり消防活動を通して地域防災の発展に寄与した、長谷川正一さんが瑞宝単光章（消防功労）を受章されました。

## 安全運転のためにいかがですか？

シニアの皆さんと子育て家庭用に車に貼るステッカーを配付しています！

かわいいイラスト！



清水町生活安全推進委員会では、交通安全の啓発のために、「お先にどうぞ！」と「赤ちゃんが乗っています」のステッカー（マグネット）を作製しました。希望される方に無料で配付していますので、ぜひお問い合わせください！

■配布先 ・町民生活課住民活動係（役場1階）  
・御影支所

【お問い合わせ先】  
町民生活課住民活動係（☎62-1151）

## 税金の役割を 租税教育資料で啓発

3月3日、帯広地方法人会清水地区会（谷口弘幸会長）が、児童に税金への理解を深めてもらおうと、税の冊子をはじめクリアファイルや鉛筆・シャープペン等の租税教育資料を、清水・御影小学校へ寄贈しました。同会は税教育を普及する団体で、谷口会長は「児童向けに税についてやさしく解説したマンガ冊子をプレゼントしたのでぜひご家族で見てください。税金への理解を深めていただけたらうれしい。」と話されています。



## 校歌を演奏しCDに 児童・生徒へ寄贈

3月4日、札幌のアンサンブルグループでNPO法人の「奏楽」が、市内の小・中・高校の校歌の演奏を収録したCDとDVDのセット合計2387組を市内の全児童生徒に寄贈されました。奏楽は、令和2年度から新型コロナウイルスの影響で校歌を歌う機会が減った道内の子どもたちへ校歌を録音・録音して寄贈する活動を行っています。

訪れたオーボエ奏者の岩崎弘昌さんは「校歌を聴いてその良さを心に留めてほしい。」と話していました。



## 渋沢栄一翁が縁で 深谷市の小学校と交流

3月16日、渋沢栄一翁生誕の地である埼玉県深谷市の八基小学校の児童と、清水小学校の児童がリモートで交流しました。交流時間は20分程度でしたが、「深谷市の名物は？」「学校で流行っていることは？」などの質問をし合い、お互いの学校や地域について紹介しました。交流に参加した清水小学校児童会長の高薄杏さんは「最初は少し緊張したが、話していくうちに楽しくなった。また交流ができればいいな。」と笑顔で話していました。



## 小学生になっても 交通ルールを守ろうね

3月23日、清水幼稚園でこぐまクラブの修了式が行われました。同クラブは、園児のお母さんたちが中心となり、子どもたちに対し、交通安全についての啓蒙活動をしています。式では、お母さんたち手づくりの『影絵』が披露されました。同クラブのキャラクターであるこぐまの「コロナたん」を出演させ、交通ルール順守の大切さをわかりやすく表現。園児たちは真剣に見入っていました。最後に、4月から小学生になる園児たちに修了証とメダルが贈られました。





春からブラウブリッツ秋田のユースチームに入団

「得点王を目指す気持ちで  
精一杯頑張りたい」

**今** 年3月に御影中学校を卒業した西垣さん。中学校

1年生からサッカーのプログレッション勝FC（フットボールクラブ）U-15のチームに

所属していましたが、昨年、

ブラウブリッツ秋田（本拠

地秋田県秋田市）U-18

の練習会に参加したところ、

プレーを高く評価され、同

ユースチームの入団合格へ

の切符を勝ち取りました。

4月からは、秋田市内の高

校に通いながら同ユースチ

ームでプレーすることにな

ります。

このたびの入団についてフ

ロのユースチームへの入

団を目標にしていたのうれしい。

高校もスポーツへのサポートが

ある学校なので、サッカーに専



念でできる環境だと思っています。「と期待に胸を膨らませている様子でした。

**西** 垣さんの得意とするポジションはフォワード。周囲か

らも『ディフェンスとの駆け引き

に優れ、ポジション取りと裏への

抜け出しが優れた選手』と高い評

価を得ています。西垣さんは「自

分の持ち味を活かし、さらに点を

取る決断力を高めていきたいと思

います。「と今後の自分自身への課題について話してくれました。

**サ** ッカーを始めたきっかけは今年大学生になるお兄

さんの影響という西垣さん。さ

らに妹・弟さんは札幌市に居住

し、コンサドーレ札幌のユース

チームに所属するなど、兄弟そ

ろってサッカーに打ち込

んでいるそう、『離れて

いても家族はサッカーで

つながっている』、西垣さ

んからそんな気持ちが伝

わってきました。

## にし が き べ に と 西垣 紅音さん

**春** から故郷である清水

町を離れることに対

しての思いを伺うと、「も

ちろん寂しい気持ちはあ

りますが、それ以上にサ

ッカーで結果を出して、自分を

応援してくれている家族や周囲

の皆さんに恩返しをしたいと思

っています。秋田のチームでは、

1年生のうちにAチームに上

り、得点王を目指す気持ちで精



相手チームのディフェンスをかわし華麗なボールさばきをみせる西垣さん。  
（写真：全道U-15フットサル十勝予選会）

一杯頑張りたいと思います。」

と意気込みを語ってくれました。

**最** 後に将来の夢について尋

ねると、「Jリーグで活

躍できる選手になって、いつか

海外でプレーするのが夢。今回

のユースチームへの入団はその

第一歩と思っています。」と真

っ直ぐなまなざしで話され、強

い意志を感じました。

これから新たな決意を胸に、

ブラウブリッツ秋田U-18

でプレーする西垣さんの今後の

活躍に期待しています。